

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(749)2211
担当部課名	土木部	南土木事務	所	下水道
事務事業名	その他整備費		事業コード	32630

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第6節	下水道の整備と管理	~63 年度
施策名	第3施策	下水道管理の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

下水道法
------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
公共下水道の供用開始区域における下水道への接続工事を進めることにより、市民の衛生的で快適な生活環境の確保及び公共用水域の保全に資することを目的とする。		事業計画区域の全ての家屋等	
		対象数	不特定多数
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
公共下水道汚水ます設置工事(その21~29) 118,227千円 公共下水道整備工事一円費 27,865千円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	265,685	172,359	146,094	181,250	180,320
	人員・時間数	5人	4人	4人	4人	4人
	人件費	42,100	33,680	33,680	33,680	33,680
	その他経費					
	合計	307,785	206,039	179,774	214,930	214,000
特定財源						

6 個別評価

(1) 達成度・・・目標をどれだけ達成したか

評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	
$\frac{a}{b} \times 100 =$		$\frac{c}{d} \times 100 =$
		$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :		

(2) 必要性・・・時代変化に適応した事業内容か

評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 既に公共下水道の面整備が完了しており、汚水ます設置は本事業で対応せざるをえない。また、新築等に伴う設置要望も減る気配は無く、建物の建築スピードが早くなっており、早急に設置を希望する件数も年々増加傾向にある。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性・・・費用対効果は妥当か

評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : ここ数年、設置要望件数と設置箇所数が同数に近く、効率性が高いと思われる。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性・・・県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 面整備時に、関係地権者の方から受益者負担金を負担していただいております、更なる負担を民間に求めることは不可能と思われる。また、市街化調整区域の公共下水道整備においては受益者負担金として負担いただく。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度・・・対象市民の満足は得られているか

評価 B ▼	A : 満足できる	理由 : 汚水ますが設置されることで、水洗化により衛生的にも満足いただいていると思われるが、市街化調整区域における水洗化が今後の課題(一部の地域については整備が始まった)である。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性・・・当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 汚水ますは、生活排水(汚水)を排除するに必要不可欠である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 調整区域の整備が進につれ、汚水ます設置要望も必然的に増加すると思われる。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 既に、平成10年度から汚水ますの構造を変更することでコスト縮減を達成している。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	市街化調整区域内の公共下水道整備が進につれ、更なる汚水ます設置要望は増加すると想定できる。要望に迅速に対応すべく、整備の進捗状況を把握し予算対応していかなければならない。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--